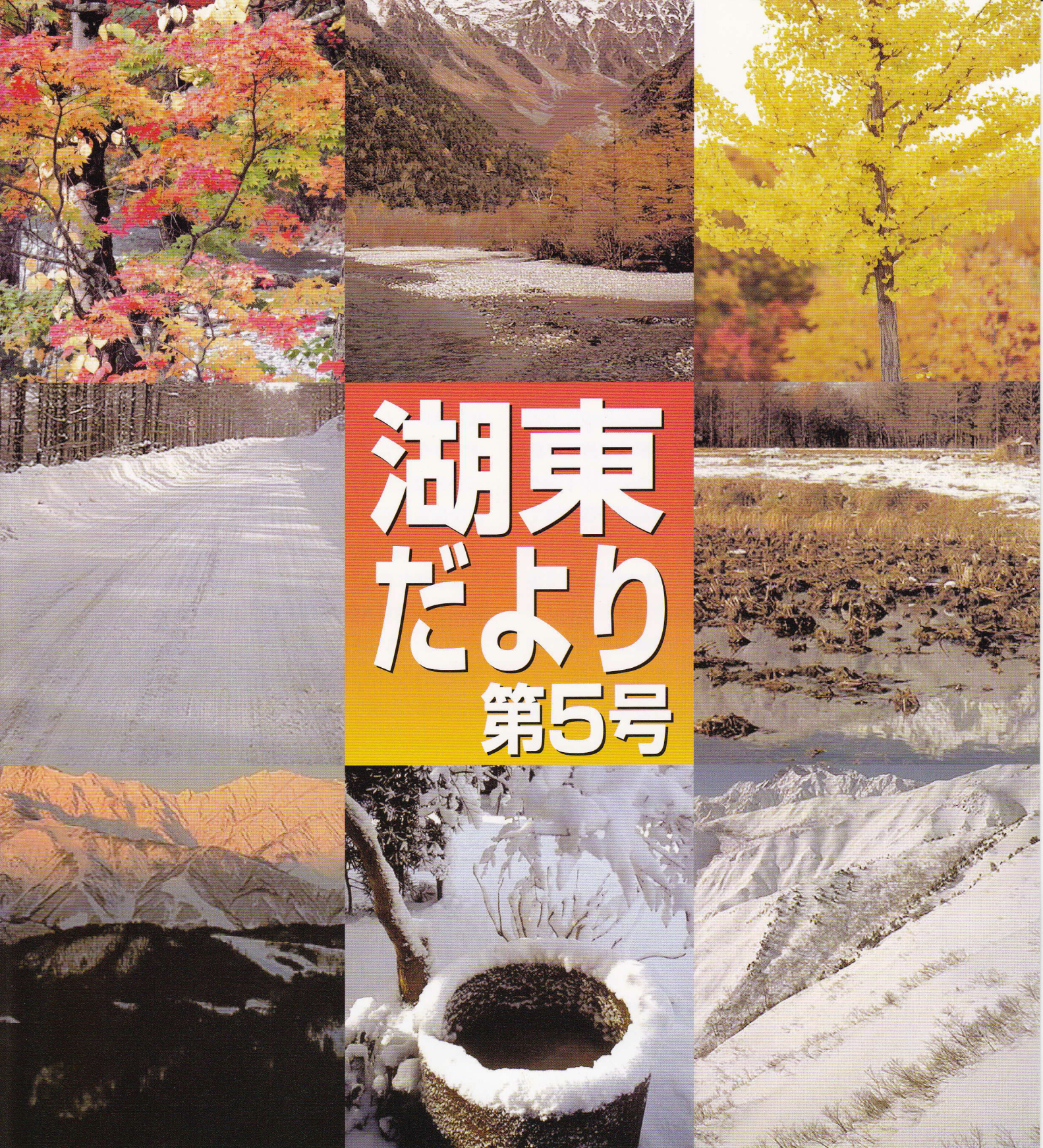




湖東 だより 第5号

心臓血管センター
湖東記念病院

冬のごあいさつ

今年もいよいよ残りわずかとなってしまいましたが、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

気温の低下に伴い、虚血性疾患や心不全の患者様が増加傾向にあります。当科といたしましても、日々、粛々とカテーテルを中心とした治療にあたっており、その責務の重大さに身が引き締まる思いでございます。ここ4年間は、カテーテルインターベンションの数は650～700例の間を横ばいで推移しており、地域の循環器疾患治療のよろず相談所として、先生方や住民の方々にほぼ認めて頂いているように感じます。不整脈治療におきましても、静田医師による最速かつ正確性を追求したカテーテルアブレーションが順調に症例数をのばしており、不整脈の御相談から治療まで対応可能となったため、またひとつ治療の幅が広がりました。冠動脈の薬剤溶出性ステントもすっかり第二世代にとって代わっております。これらは、デ

副院長

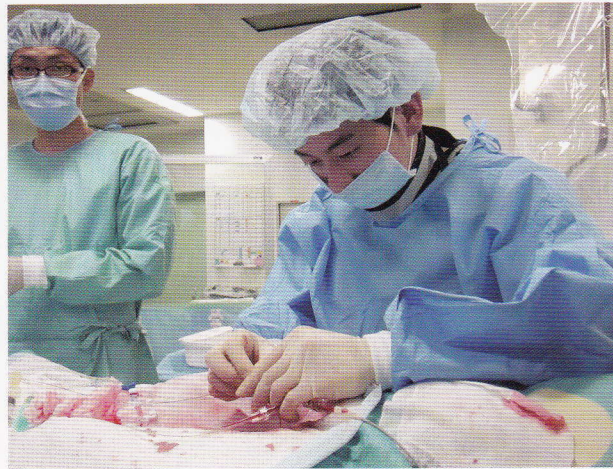
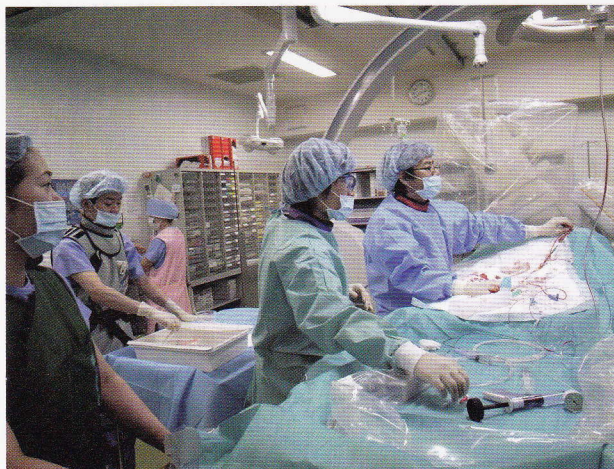
馬淵 博



リバリー性能や血管形状の適合性に優れており、より薄いこともあって、血栓症のリスクも低くなっております。

また、最近は大動脈のステントグラフト治療も普及してきており、当院でも近隣大学病院と協力しつつ、最適な治療を受けて頂くことが出来るよう鋭意努力しております。下肢動脈や鎖骨下動脈等の末梢動脈や脳外科医師による頸動脈インターベンションも安全かつ積極的に施行しており、これらの疾患につきましても、お気軽に御相談頂ければ幸いです。

もの心せわしい年の暮れを迎え、なにかとご多用とは存じますが、お体にお気を付けてお過ごしください。



カテーテル細径化の進歩

平素より諸先生方には大変お世話になりありがとうございます。

最近の狭心症治療に関するトピックの一つとして、カテーテルの細径化が挙げられます。1980年代、カテーテル治療(バルーン拡張)が始まった当初は大腿動脈より8-10フレンチシース(外径約4mm)からカテーテルを挿入し、0.018インチ(0.46mm)ガイドワイヤーを冠動脈へ通過させて治療を行っておりました。1990年代になり冠動脈用ステントが登場しますが、初期のステントシステムはステント脱落防止を図るためシステムが太く、8フレンチシースが必要でありました。1990年代後半になって急速にカテーテル治療におけるデバイスが進歩し、現状の0.014インチ(0.36mm)ガイドワイヤー、6フレンチシース(外径約2.7mm)のシステムが登場、径の細い橈骨動脈(手首の動脈)からのカテーテル治療が可能となりました。最近ではカテーテルにさらなる改良が加えられ、0.010インチ(0.25mm)ガイドワイヤー、4フレンチシース(外径約2.0mm)での治療も可能となっております。また従来のシース(カテーテルを出し入れするための鞘)を使用せず、

心臓血管センター長
武田 輝規



カテーテルを直接経皮的に挿入するシースレスカテーテルの手法を用いることで、穿刺径はさらに0.6mmほど細くすることが可能となり、より低侵襲な手技として適応を拡げています。

当院でも待機症例の約90%に橈骨動脈アプローチによるカテーテルを行っており、5フレンチ以下でのカテーテル治療も約20%、シースレスカテーテル治療も約15%にまで増加しております。このことはとりもなおさず患者様の苦痛軽減、出血などの合併症低下へと結びつくものと考えられます。

今後もカテーテル治療のデバイスだけではなく、新しい検査や治療薬など近代医学のめざましい進化に対して、安全性と有効性を確認しながら患者様にうまく還元できるように努力していきたいと思っています。

また今後とも何卒変わらぬ御指導の程宜しくお願いいたします。



■循環器科外来担当表

		月	火	水	木	金	土
循環器科	午前	坂口	馬 渕	村 上院長 〈一般内科・循環器科〉	前 田	村 上院長 〈一般内科・循環器科〉	非常勤
		武 田	只 野		前 中	武 田	
	午後	前 田		坂 口		馬 渕	
不整脈科	午前			静 田 〈2週〉予約制			静 田 〈4週〉予約制

〈午前診〉受付 7:30～11:30 診察 9:00～12:00

〈午後診〉受付 13:00～15:00 診察 13:30～15:30

H22.11.18改訂

※月2回 京都大学医学部附属病院 不整脈科 静田先生が来院されます。

※ペースメーカー外来 毎月第1金曜日 午後〈予約制〉

■循環器科外来について

平素は格別のご高配を賜り、又患者様をご紹介いただき厚く御礼申し上げます。

さて、当院の循環器科外来についてご紹介させていただきます。循環器科外来につきましては村上(院長)・非常勤医師を除きまして、原則予約制となりますが、先生方よりご連絡をいただいた際には、その医師が責任をもって診察させていただきます。

地域医療機関との連携と患者サービスの向上に努めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

ご質問等がございましたら、お気軽に地域連携室までお問い合わせください。

地域連携室



■ご案内

○電車で越しの方

JR能登川駅よりタクシーで20分、バスで25分

(市ヶ原〔角能線〕行き・湖東記念病院前下車)

近江鉄道八日市駅よりタクシーで20分、バスで25分

(僧坊〔湖東線〕行き・湖東記念病院前下車)

○車でお越しの方

名神高速道路 八日市インターより15分

駐車場：150台

料 金：無料

※駐車場内での事故、盗難、破損等につきましては病院側では一切責任を負いませんのでご了承ください。

心臓血管センター 湖東記念病院

地域連携室 TEL. 0749-45-4512
FAX. 0749-45-3335

ホームページアドレス
URL <http://www.subarukai.jp/>

〒527-0134 滋賀県東近江市平松町2番地1
TEL. 0749-45-5000 FAX. 0749-45-5001